

【専門分野】

科目名	共通基本技術Ⅱ (安全・安楽の技術)	講師名	専任教員	学 年	1	履 修 期	第1学期
単 位	1単位						
時間数	30時間						
講師実務経験	看護師としての臨床経験あり。						
授業概要	看護における安全・安楽の意義を理解し、対象の安全・安楽を保つ基本的技術と事故防止のための技術を学ぶ。						
授業科目目標	1. 看護における安全・安楽の意義、対象の安全・安楽を保つ基本的技術が理解できる。 2. 感染防止の基礎知識、感染防止の方法、無菌操作の方法が理解できる。 3. 医療安全の基礎知識、事故発生のメカニズム、事故防止の対策が理解できる。						
授業計画	1回：看護における安全 1) 安全の意義と目的 2) 基本的技術としての安全の重要性 3) 患者の安全を阻害する危険因子 2回：感染防止の基礎知識 1) 感染成立と予防 2) 院内感染の防止 3) 感染性廃棄物の取り扱い 3回：標準予防策（スタンダードプリコーション）の実際 1) 衛生的手洗い 2) 個人防護用具（マスク、エプロン、ディスポグローブ、ゴーグル） 3) 針刺し・切創による感染防護策 4回：洗浄・消毒・滅菌法 5回：無菌操作の実際 1) 滅菌物の取り扱い方法 2) 鑷子の取り扱い方法 3) ガーゼ、綿球の取り扱い方法 4) 滅菌手袋の着用方法 5) ガウンテクニック 6回：感染経路別予防策 1) 感染経路別予防策の基礎知識（小児感染症とワクチン接種） 2) 接触予防策 3) 飛沫予防策（インフルエンザ） 4) 空気予防策（結核） 5) カテーテル関連血流感染対策 7回：安楽の意義、看護師の役割（ポジショニング・リラクゼーション・罨法） 8回：罨法 9～10回：医療安全の基本 1) 医療安全を学ぶ意味と重要性 2) 医療安全の考え方の変化 3) 医療事故と医療過誤 4) 看護職の法的規定と医療安全 11回：事故発生のメカニズム 1) エラーの形態と原因 2) エラーを誘発しやすい環境 3) ヒューマンエラー 4) スイスチーズモデル、ハインリッヒの法則 12～13回：看護事故・医療事故防止の考え方 1) インシデント・アクシデント発生時の速やかな報告、 インシデントレポート、アクシデントレポート 2) 患者の誤認防止策の実施 3) 針刺し事故の防止と事故後の対策 4) チーム医療と医療安全 14～15回：危険予知トレーニング（KYT） 転倒転落防止 *安全な療養環境の整備（転倒・転落・外傷予防） 15回：終了試験						講義 講義 演習 講義 演習 講義 演習 講義 講義 講義・演習
評価方法	筆記試験						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ, 医学書院. 2. 系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 [2] 医療安全, 医学書院.						
参考書	1. 竹尾恵子他：看護技術プラクティス, 第4版, 学研.						
学生へのメッセージ	演習を通して感染予防技術・安楽確保の技術の基本を学び、患者の安全・安楽を守るために確実な技術を習得していきましょう。 【関連科目】病理学Ⅳ、生活援助技術Ⅰ・Ⅲ、診療関連援助技術Ⅰ・Ⅱ、成人看護援助論Ⅰ・Ⅲ						